

＜主なリスクと機会とその対応＞										2026年3月末現在
ESG テーマ	ESG マテリアリティ	リスクカテゴリー		発生可能性	影響度	リスクの内容	機会の内容	リスク・機会とその取り組み		
ものづくり	商品、サービスを通じた気候変動・防災への貢献	大規模災害リスク		中	大	・大規模災害（台風・集中豪雨・地震等）による事業活動継続の危機	・気候変動対応（適応）商品、防災商品（防火、防煙）の提供による収益機会の増大	・安否確認システムの導入 ・事業継続計画（BCP）の策定 ・気候変動対応商品、防災商品の開発、提供		
		感染症リスク		低	中	・感染症蔓延（パンデミック）、クラスター発生による事業活動継続の危機	・抗菌対応商品、非接触商品等の提供による収益機会の増大	・感染症対策の強化 ・抗ウイルス商品、非接触商品等の開発、提供		
	品質の確保・向上	品質リスク	製造品質	高	大	・製造に起因する品質不具合	・商品の差別化による収益拡大	・老朽設備の更新、生産技術の継承、作業環境の改善、出荷前検査の強化 ・トレーサビリティシステムによる出荷後商品不具合時の原因究明 ・生産ラインの自動化、ロボットの導入による省人化、生産効率の向上		
			施工品質	中	大	・施工に起因する品質不具合、火災事故等の発生	・省施工商品の差別化による収益拡大	・施工技術者への施工研修や技能ランク付け、施工技術の研究開発、安全衛生定例会の実施 ・工程管理システム、工事EDI（電子データ交換）の導入による業務効率化		
			設計品質	中	中	・設計に起因する品質不具合	・設計力強化による差別化	・最新の設計システムの導入、営業員が利用できる簡易作図システムの導入による設計品質向上と業務効率化		
			営業品質	高	中	・顧客への提案内容、打ち合わせの不備等に起因する苦情	・ソリューション提案営業による収益機会の拡大	・営業員に対する新商品研修、階層別研修、営業スキルアップ研修等の実施		
			点検品質	中	中	・定期点検未実施による事故の発生 ・FTS対応遅れによる信用失墜	・点検制度法制化の拡充によるメンテナンス・サービス事業拡大	・保守点検の契約締結の推進 ・既存商品のデータベース化 ・安全装置設置および必要な修理、取替の提案		
	研究開発リスク		中	中	・商品開発ニーズへの対応遅れや安全対策の不備	・革新的技術の開発による成長機会獲得	・常に安全面を考慮した研究開発と技術強化、顧客ニーズの掌握、新商品開発 ・気候変動対応、IoT対応、防災・減災商品の開発			
	原材料価格・調達リスク		高	大	・原材料価格の高騰、副資材価格や物流費の上昇 ・部品、部材等の調達難による出荷の停滞	・安定調達の実現による商品提供の継続	・製造原価の精査とコストダウン、商品価格への転嫁 ・必要部材の早期把握、確保、代替調達方法の整備			
	生産・物流リスク		高	大	・商品搬入システムの不具合 ・時間外労働の上限規制への対応（トラックやドライバーの確保困難など）	・ネットワークを活かした生産・物流体制の向上	・納期に応じた生産体制の構築 ・納期管理システム、配車倉庫管理システム、トラック管理システムを導入し適切な商品搬入を実現			
	労働災害リスク		高	大	・工場、施工現場での事故・労働災害の発生		・製作用業マニュアルの整備、安全教育の実施 ・工場作業場への空気循環装置やエアコン設置、休憩所の整備など作業環境の改善 ・施工作业マニュアル等の整備、安全教育、安全衛生会議での安全作業の周知徹底			
環境	脱炭素社会へ向けた取り組み	環境・気候変動リスク		高	大	・炭素税の賦課によるコストの増大 ・温室効果ガス排出規制等への対応遅れによる信用失墜 ・環境配慮商品に対する研究開発費の増加 ・気候変動による生産活動および出荷影響 ・気温上昇に伴う生産現場および施工現場の生産性低下	・気候変動対応（緩和）商品の拡充による成長	・「三和グループ環境方針」に基づいた環境保全活動の実施 ・CO2削減目標の設定と達成に向けた取り組みの実施（太陽光発電設備の導入、事業所・工場の照明LED化、営業車のエコカー（ハイブリッド車など）への切り替え、フォークリフトの電動タイプへの切り替え等） ・TCFD提言へ賛同表明（2021年12月） ・気候変動対応（緩和）商品の開発、提案、提供		
	水資源の保全			低	中	・水使用量の削減目標未達による信用失墜		・水使用量の削減目標を設定し、取り組みを実施		
	廃棄物の削減			低	中	・エネルギーコストおよび廃棄物処理費用の増加 ・産業廃棄物の削減目標未達による信用失墜 ・廃棄物、リサイクル関連の処理方法等の法令違反による信用失墜		・廃棄物の適切な分別等の対策 ・産業廃棄物の削減目標を設定し、取り組みを実施		
人	人材育成	人材リスク		中	大	・適正人員不足による業務効率低下 ・有能人材の流出	・有益な人材確保による競争力アップ	・新卒採用・中途採用の促進 ・人材育成のための体制強化 ・職能等級制度や人事評価制度の見直しによる若手人材登用		
	ダイバーシティの推進			低	中	・多様性への取り組み遅れによる雇用への悪影響および信用失墜	・多様性の推進による組織力強	・女性社員の積極的な採用、配属職種の拡大、キャリアアップ研修の実施		
	安全と健康	人事労務リスク		高	大	・従業員の安全と健康の管理不足 ・過重労働に伴う集中力低下でのミスロス発生、業務効率の低下 ・36協定違反による信用低下 ・メンタル不全による健康被害	・働きやすい職場環境による生産性の向上	・労働環境の整備 ・労働時間管理システムの導入 ・計画的有給休暇取得の拡充 ・健康診断での要精密検査者への受診指導 ・メンタルヘルス制度の導入 ・育児休職制度、テレワークや有給休暇取得推進による働きやすい職場への改善推進		
グループの経営基盤	コーポレート・ガバナンス	経営リスク	自然災害・感染症リスク			（大規模災害リスク参照）				
			地政学リスク	低	大	・海外進出地におけるテロや暴動、戦争や紛争等の発生、法規制等		・地政学リスクのモニタリング、調査、海外駐在員等からの情報収集		
			経済動向リスク	中	中	・景気後退に伴う需要減少による業績悪化、為替・金利変動影響、資金調達リスク		・通貨スワップ、為替予約などのヘッジ対応 ・資金調達先の分散化		
			財務・会計・投資等関連リスク	中	中	・得意先の経営破綻による倒産、事業廃止による不良債権、貸倒損失発生		・与信管理の徹底		
	コーポレート・ガバナンス関連リスク		中	大	・ガバナンス体制不備による信用失墜	・ガバナンス強化による社会からの信頼性向上	・取締役会実効性評価アンケート ・指名・報酬委員会の設置 ・ボードダイバーシティの取り組み			
	人権の尊重	人権リスク		中	中	・人権侵害行為による職場環境悪化や労使紛争、訴訟等による信用失墜	・エンゲージメント向上による強力な組織体制の構築	・「三和グループ人権方針」の制定 ・人権デュー・デリジェンスの実施 ・サプライチェーンアンケートの実施 ・コンプライアンス研修の実施 ・通報窓口の設置		
	コンプライアンス	コンプライアンスリスク	不正・不祥事・法令違反リスク	中	大	・内部統制未整備による信用失墜 ・不正・不祥事、法令違反、社内規定違反等による問題発生で信用失墜、法改正等の対応遅れ等の違反	・社会からの信頼性向上	・「コンプライアンス行動規範」を原則とした企業風土の醸成 ・コンプライアンス研修の実施 ・内部通報制度の導入 ・社内監査の徹底による不正会計、不正受注の撲滅 ・「贈収賄ガイドライン」による不祥事予防の体制強化		
			交通事故リスク	中	中	・交通事故による人力的被害および業務低下と損害賠償の増大 ・飲酒運転による信用失墜	・安全面に配慮した信用力向上	・営業車両への安全装置の装備 ・アルコールチェック体制の導入 ・飲酒運転撲滅運動の実施		
		情報セキュリティリスク		中	大	・サイバー攻撃による機会損失と信用失墜および再開コストの増大 ・情報漏洩リスク発生による信用失墜	・安全面に配慮した信用力向上	・「情報セキュリティポリシー」に基づいた三和グループ情報管理体制によるサイバーセキュリティリスクへの対応 ・IT-BCPの構築 ・システム使用制限（特権ID）の徹底		